

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	社会福祉法人大和しらかし会 児童発達支援事業松ぼっくり		
○保護者評価実施期間	令和6年8月19日		～ 令和6年9月6日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	28名	(回答者数) 22名
○従業者評価実施期間	令和6年8月19日		～ 令和6年9月6日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	令和6年10月17日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・お子さんの発達に合わせた支援の検討・実施しています。	・療育後のフィードバックを実施し、情報や現状を共有しています。 ・支援方針についての会議を実施しています。	・丁寧なフィードバックや支援会議を実施し、その中で発達や支援がどのように繋がっているのか検討していけるよう進めていきます。 ・研修や日々の業務の中で人財育成に努めていきます。
2	・ご家庭への支援(相談や具体的な支援の方法)。	・家庭生活や幼稚園、保育園での生活についてお話を伺うようにしています。それらの情報をもとに家庭生活に取り入れられる支援を心がけています。	・ご家族との情報交換や支援のプロセスなど多角的に観ることができるような人財育成について検討をしています。
3	・関係機関との連携、それを担う人財育成(OJT)を実施しています。	・関係機関への訪問や情報交換等を行いながら、お子さんにとってわかりやすい支援を共有していけるよう努めています。	・関係機関への訪問だけでなく、当事業所へ足を運んでいただき、実際の支援を見学していただけるよう努めています。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だとと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・午前中の療育時間であり、幼稚園、保育園をお休みしての参加となること。	・多機能型であるため午後は放課後等デイサービスを実施しています。そのため午前だけの時間枠となっています。	・幼稚園、保育園のカリキュラムを考慮し利用曜日をご家族と検討して決定していきます。 ・幼稚園、保育園をお休みいただくことには変わりはありませんが、継続した療育を提供できるよう振替のご利用を提案しています。
2	・非常災害時の対応や避難について、出入口の狭さや段差があることは検討や工夫が必要だと考えます。	・事業所として使用している建物が一般家屋であることで改築などが難しいと考えています。	・大がかりな変更等は難しいため、段差や高さ、狭さなどに工夫や検討をし、避難時の行動についてご家族にも周知していくよう努めます。
3	・事業所単体での地域交流は実施していません。法人で地域に開かれたまつりや地域生活支援公開講座を実施しています。	・週1回の利用で地域の所属の意識は持ちにくいと思われま す。 ・法人で行っている地域交流があり、事業所としては実施して いません。	・地域の幼稚園、保育園に訪問するなどお子さんの所属している場所との連携を今後も実施していきます。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 児童発達支援事業 松ぼっくり

公表日 R7年 1月 15日

利用児童数 28名

回収数 22枚

		チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	16	6			・年長児が集まると遊びの部屋が騒がしく、狭く思う。もう少し余裕が欲しい。 ・もう少し広いといいなあと思います。 ・人+親となると、自由遊びの時狭く感じることがある。活動のスペースは充分。	時間をずらしながら、活動や課題に誘導してまいります。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	22				・たくさん大人の目があるので安心して います。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になって いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や 情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	21			1		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思 いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思 いますか。	20	2				
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に 応じた専門性のある支援が受けられていると思 いますか。	21	1			・自分たち親以外に、こんなに子供を真 剣身になってくれる人たちに会えて感 謝しています。	
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供 する支援内容と合っていると思いますか。	20	1				
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズ や課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成 されていると思 いますか。	20	1			・子の困り事、課題に合わせて作成して くれて助かっている。	
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「 児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す 支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具 体的な支援内容が設定されていると思 いますか。	17	2			・4月改正時にも丁寧な説明いただきま した。おかげで子供も落ち着いてきて います。	
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思 いますか。	21				・フィードバックの際に目標に沿って支 援してくださっているのがわかる説明の 仕方なのでわかりやすい。	
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫 されていると思 いますか。	20	2				
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その 他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	9	1	6	6	・松ぼっくり内で完結している。 ・現在は望んでいないため無くても良い。今 後は他の曜日の子と交流してみたい。	現在は多様日との交流は実施しており ません。今後は、夏休み中に交流出来るよ うなイベントを検討していきます。
保 護 者 へ の	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、 利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	22					
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の 説明がなされましたか。	22					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム（ ペアレント・トレーニング等）や家族等も参加 できる研修会や情報提供の機会等が行われて いますか。	21	1			・毎回丁寧に話を聞きアドバイスしてく れている。 ・ここに参加して自分の視野も広がりました。 レインボーやまびこの会も参加しました。	
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こ どもの健康や発達の状況について共通理解が できていると思 いますか。	22				・毎回丁寧に話を聞きアドバイスしてく れている。 ・「今週はどうでしたか？」と先週にコン ディションが悪かったときは必ず聞いてく れます。	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支 援が行われていると思 いますか。	22				・日常のちょっとした相談事に対してア ドバイスを頂き、ママがんぼってると言 ってもらえて心がとてもおちついていま す。 ・毎回丁寧に話を聞きアドバイスしてく れている。	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされて いると思 いますか。	22				・「今日帰ったらママに伝えることをア ドバイス」 ・毎回丁寧に話を聞きアドバイスしてく れている。	

説明等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	11	4		6	・今年から保護者の交流時間が戻り、あいさつ程度でしたが会話できるようになりました。 ・コロナが落ち着き始めて同じ曜日のお母さんたちとお話会に参加した。とても楽しかった、定期開催を希望します。	今後は、後期にもお話し出来る時間を検討していきます。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	22					
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	22					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	12	4		6	・わかりやすい工夫はしていただくと助かります。	HPの情報が更新されたときに、ホワイトボードでお知らせしていきます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	21	1				
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	11	5	2	4	・避難訓練、避難経路がわかると安心。 ・保護者への共有をいただくとありがたいです。	・避難訓練は10月に実施します。 ・マニュアルなどは契約時に説明し、常時玄関に設置しています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	7	5	2	8	・年1回のみ(避難訓練) ・実施されていると思いますが情報は認識できていません。	・今後は月案にてお知らせします。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	17	3		2		
	26	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	14	2		6		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	22				・一度も嫌がったことがなく、たいへん楽しみにしている。	
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	22				・一度も嫌がったことがなく、たいへん楽しみにしている。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	22				これからもスタッフの先生たちを大切にしてください。なくてはならない存在です。	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達支援事業 松ぼっくり				公表日	R7年 1月 15日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6		活動と自由あそびの空間が分かれており、プログラムに合わせて環境がわかりやすい。空間が広いときはパーティションを使用し区切るなどの工夫をしている。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	1	手洗い場は踏み台使用	踏み台が不安定なため、今後は購入を検討	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6				
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6		パーティションを使用して個別の空間を作っている。パーティションなどの仕切りを用いて、個々のスペースがわかりやすいようにしている。		
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6				
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6				
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	1	法人として行っている。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		新しく採用された職員に対し、オンラインによる研修とレポート提出がある。内部研修を実施している。		
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6				
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		支援計画のための会議を行っている。	細かいところまでの共有を目指したい。→今後は、非常勤も出勤時には会議に参加する方向で検討。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		一覧表にまとめている。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6				
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		月1回の職員会議で決定している。		

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		運動、音楽、制作、ゲーム、お手伝い、スライム、新聞紙、ボールなど、月ごとにプログラムを作成している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6			
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	1		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	1	必要であれば、情報交換をしている。	
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)				
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	5			
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	1	5		全員が地域の保育所や幼稚園に通っているため。幼稚園、保育園と併用している利用児が多いため。	
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6				
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6		教材づくり、懇談会の実施。講演会チラシ配布。		
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6				
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6				

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6			
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5	1	懇談会の実施。	保護者同士の交流は懇談会で行い、きょうだい同士の交流はなかなか難しい。→今後は、夏休み中に交流出来るようなイベントを検討していきます。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6		HPで公開している。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6			
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	1	法人内では、実施している。法人として実施。法人全体の「松風園まつり」がある。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6			
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	5	1	てんかん発作は、保護者と確認。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	1		食事場がないため。該当者、食べる環境常時でない。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5			
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	1		準備中。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6			
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6			
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5	1		対象児がないため。	

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	社会福祉法人大和しらかし会 放課後等デイサービス松ぼっくり		
○保護者評価実施期間	令和6年8月19日		～ 令和6年8月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	70名	(回答者数) 40名
○従業者評価実施期間	令和6年8月19日		～ 令和6年9月6日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	令和6年10月17日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・児童の興味・関心、将来必要なスキルなど個々に合わせた支援を実施しています。	・ご家族へのアンケートや受け入れ時の確認などから児童の状況等を共有しています。それらをもとに意思やニーズにお応えしていくよう務めています。 ・支援方針について会議を実施しています。 ・ケース検討を実施しています。	・支援方針会議やケース検討を実施し、その中で発達や支援がどのように繋がっているのか検討していけるよう進めていきます。 ・研修や日々の業務の中で人財育成に努めていきます。
2	・ご家庭への支援（相談や具体的な支援の方法）。	・家庭生活や小学校での生活について得た情報をもとに、家庭生活に取り入れられる支援を心がけています。	・ご家族との情報交換や支援までのプロセスなど多角的に観ることができるような人財育成について検討していきます。
3	・関係機関との連携、それを担う人財育成（OJT）を実施しています。	・関係機関への訪問や情報交換を行いながら、児童にとってわかりやすい支援を共有していけるよう努めています。	・関係機関への訪問だけでなく、当事業所へ足を運んでいただき、実際の支援を見学していただけるよう努めていきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・活動のフィードバックをする時間が短く丁寧に行うことが難しいと感じています。	・活動時間とフィードバックの時間が一体であるためと考えます。	・活動後に預かりをしつつその時間にフィードバックができるよう検討していきます。
2	・非常災害時の対応や避難について、出入口の狭さや段差があることは検討や工夫が必要だと考えます。	・事業所として使用している建物が一般家屋であり改築などが難しいと考えています。	・大がかりな変更等は難しいため、段差や高さ、狭さなどに工夫や検討をし、避難時の行動についてご家族に周知していくよう努めます。
3	・事業所単体での地域交流は実施していません。法人で地域に開かれたまつりや地域生活支援公開講座を実施しています。	・月1回から2回の利用で地域の所属の意識は持ちにくいかわかれます。 ・法人で行っている地域交流があり、事業所としては実施していません。	・地域の小学校や学童クラブを訪問するなど児童の所属している場所との連携を今後も実施していきます。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 放課後等デイサービス 松ぼっくり

公表日 R7年 1月 15日

利用児童数 70名

回収数 40名

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	33	5	2		少数での活動なので十分取れていると思います。前は、運動の時は狭いかな?と思いましたが、工夫して運動出来たので、上手くスペースが使えてたと思います。もう少し広ければ活動の幅も広がりますかとは思いますが。もっと広いといいと思います。	
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	40				たくさんいる印象です。いつもきめ細かくみていただいています。少人数制のため職員の方の目がきちんと行き届いていると感じます。	
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	36	4		1	うちの子の特性には、とても合っていると思います。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	37	3			清潔感もあるし、子どもの活動に合っていると思います。	
適切 な 支 援 の 提 供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	39		1		診断書に書いてある診断名を見て、「あー○○だもんね」「○○の子ってこうだもんね」と決めつけられたようなことを言われた。困ったことなど相談できるので、ありがたいと思います。相談しやすく、適切な答えをもらえます。子供の特性に合わせて、皆一律の対応ではなく個別に対応の仕方を変えてくださっていて、きちんとした支援をうけられているのを感じます。	・今後は診断名ではなく、お子さん自身をよく観て対応していきます。申し訳ございませんでした。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	36	2		2	合っていると思います。	
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	39	1	1		家での生活でも役にたっています。	
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	37	2		1	設定されていると思います。	
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	38	2	1		本人に合っているとは思えない。行われていると思います。	・個別支援計画の説明時に、今の状況の確認し、保護者と本人にとってご納得できる支援計画を作成するよう務めています。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	36	4		1	家でやれそうな事も参考にしています。	
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	4	12	13	13	・夏休み中は、他の子と関わる事が少ないです。毎日利用していないため、登所日以外で実行されているのかもしれない。 ・自分がそのような機会に対して積極的に参加していないためこの回答にさせていただきました。 機会はないと思いますが松ぼっくりの時間内では特に望んでいません。	・夏休みにイベントを実施しています。 来年度も企画予定です。
保 護 者 へ	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	40				初回利用時や、面談のときに教えていただいています。	
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	39	1			されています。	
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	32	5	1	2	・療育講座にはzoomで参加させてもらってます。 ・情報は定期的にいただいておりますがキャパオーバーでなかなか参加できずいます。	
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	35	4	1		できていると思います。	
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	34	5	1		参考にさせてもらってます。	
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	35	4	1		いつもありがとうございます。	

の 説 明 等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	23	10	3	5	・保護者との交流はあると思いますが、兄弟児のことはわからないです。 ・もう少し他の親御さんとお話できる機会があると嬉しいなと思いました。	・皆さんが集まれる機会を検討していきます。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	35	5			されていると思います。	
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	36	4	1	1	配慮されていると思います。	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	25	7		8	発信されていると思います。	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	38	1		1	されていると思います。	
非 常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	30	3		7	子供たちの避難訓練の様子は、聞いた事はないかと思えます。	・年に一度、グループ中に避難訓練を実施しています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	23	5		12		
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	33	1		6		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	30	4		6		
満 足 度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	38	2				
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	31	8	1		行けば楽しいのですが、一度帰宅するので再度外出するのは面倒みたいです。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	37	2	1		こどもに合った環境作りや支援をして頂き、安心して通う事が出来ています。	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日					
放課後等デイサービス 松ぼっくり		R7年 1月 15日					
		チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
		はい	いいえ				
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6			パーティションなど使用し、空間を区切っている。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	1		パーティションなどを使い、活動やグループに応じた空間を作るよう配慮されている。	玄関のあがりまちが高い、狭いこと。順番に行うが、災害時、非常時が心配。 →非常時のとき、靴の履き替えをしないで避難できるように、上履きを履いて貰っている
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6			パーティション利用、スケジュールの組み方の工夫。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6				
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6			声かけを行っている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6				
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	1			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6			内部研修の実施	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6				
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6			支援計画作成のための会議をしている。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6			一覧表にまとめている。個別ファイルが職員が見ることのできる場所にあり、必要な時に確認している。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6				
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6			職員会議を実施。	

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	2	気づきの共有は行っている。全員では難しいため、常勤同士で行っている。振り返りができないときは、記録を読むことで確認している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	6			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6			
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4	1		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	1	同じ職員が児童発達支援事業と放デイを兼務しているため	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	2	2	対象児がいないため。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6		イベントにPTなど参加、活動案などをもらう。また必要があれば、心理にコンサルテーションを依頼することがある。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	5		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	2	4	法人内の他事業所が参加している。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6		講演会のチラシの配布。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6			

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4	2	懇談会、参観日を実施している。	保護者同士の交流は懇談会で行うが、きょうだい同士の交流は、現状難しい。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6		ホームページで公開している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	1	法人として年に一度、地域住民や利用者が参加出来る“松風園まつり”を実施している。 (他事業所に出店してもらっている)	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6		利用前にアンケート実施。 てんかん発作などについては受け入れのときに確認している。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3	3	おやつ作りの際、保護者に確認している（アレルギーなし）	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3	2		今後実施準備中。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6			
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4	2		身体拘束が必要と考えられる対象児がないため。	